J3課題 第2回 (2022/5/11)

馬谷誠二

連絡事項 その1

- この回は自習になります
- 授業時間の最初に次ページ以降を自分で読んでから、 HTML資料に進んでください
- 代替措置
 - 1. 臨時オフィスアワー
 - 5/13 (金) 18:00-20:00
 - 授業授業と同じZoom
 - 2. 5/23(月)の授業時間に補講
 - 通常授業と同じZoom

どちらも実験時間と同じように質問があれば入室してください

連絡事項 その2

- 講義資料
 - http://www.ulab.info.kanagawa-u.ac.jp/~umatani/ uec-mics-j3/
 - ユーザ名: javagui, パスワード: SwingSwing
 - ・ 第2回を参照
- それ以外の時間の質問は
 - umatani@kanagawa-u.ac.jp

本日の狙い

- GUIプログラミングに触れる
 - ボタンなどの部品とイベント処理
- 継承という概念を理解する

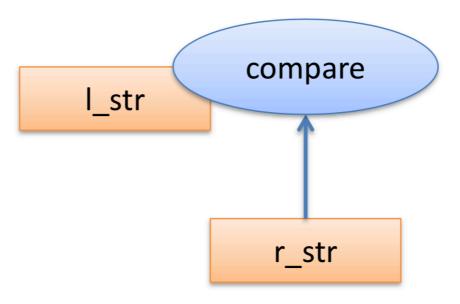
復習: オブジェクト指向

「もの(オブジェクト)」にメソッド(手続き)がくっついてる

compareTo(l_str, r_str)

compare r_str

l_str.compareTo(r_str)



クラス設計

- クラス: 同じように扱える「もの」
 - Studentは全員に名前と学籍番号がある
- インスタンス: クラスに属する個々の「実体」
 - (佐藤, 11111), (山田, 11112), ...
- 少しずつ違うクラスを扱うことが必要になる
 - Student
 \(\subseteq \text{Teacher} \)
 - ほとんど同じだが、学籍番号と職員番号が違う
 - ちょっとだけ違うという状態をどう扱うか

継承

- 同じように扱える観点: 1つのクラス
 - → 親クラス
- 違う扱いが必要な部分: 異なるクラス
 - → 親クラスを「継承」した子クラス
 - 親が持つ共通部分はそのまま使い, 違う部分だけ 別途プログラミングする

例: 飛行機の予約

- 人(Personクラス)
 - 名前、予約日、料金、食事(ベジタリアンとか)
- 持ち込み荷物(Baggageクラス)
 - 席の予約,料金の計算が必要
- 共通する部分をOccupantクラスにしよう
 - 何が座っていても料金は発生
 - 料金を答えるメソッドを持てば良い
 - 請求 = sum(その人が予約した全ての席の料金)

予約システムでのクラス設計

クラス階層

あるグループの料金 請求は? Occupant

- seat_position()
- fee()

Person (extends Occupant)

meal()

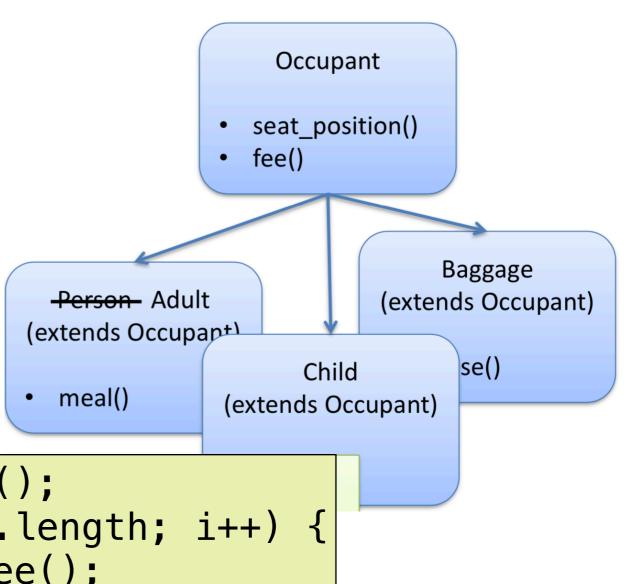
Baggage (extends Occupant)

whose()

```
Occupant[] group = target();
for (int i = 0; i < group.length; i++) {
  total_fee += group[i].fee();
}
return total_fee;</pre>
```

何が嬉しいか?

- もしAdult, Childクラス が必要になったら
 - Adult, Childクラス追加
 - 料金計算部分は修正の 必要なし



```
Occupant[] group = target();
for (int i = 0; i < group.length; i++) {
  total_fee += group[i].fee();
}
return total_fee;
```

オブジェクト指向の良さ

- データの種類によって、ちょっとずつ違う処理が 必要になる場合(世の中はそういう事例が多い)に おいて、詳細に関する部分をデータの側で責任を 持って考慮してもらう
- 上位のアルゴリズムが見通し良く書ける
 - 数学・物理の問題でよくある、「人間も荷物も質量を 持った球体として扱う」のような考え方
- 余談: それだけでは済まないこともたまにある
 - cf. アスペクト指向

課題提出

- 練習問題4
- ソースコード(.javaファイル)を貼り付けること
 - (次の説明文も含め)複数のファイルに分けている人は、適当な名前のzipファイルにまとめて提出してください
- 工夫したところがあれば、ごく簡単に説明も
- 提出の必要はありませんが、練習問題9もぜひやってみてください
- 提出期限: 5/18(水) 12:59
 - 今日が自習なため、最悪月曜に質問できるようにしておきます